

週寫眞
報

情 報 局 編 輯
十一月十一日 第四百六十六號





天皇 皇后兩陛下
第十三回明治神宮
國民鍊成大會に行
幸行啓遊ばさる

第十三回明治神宮國民鍊成大會
は三笠總武宮殿下御統率の下に十
月二十九日から六日間、明治神宮
外苑競技場を中心に行幸され、全
國の代表選手をはじめ満洲、中華
民國、蒙古、南洋から馳せ参じた
總勢二万七千名が必勝の戦ひを戦
ひ抜く氣魄を示しつゝ豪華な健民
繪巻を繰りひろげた

段くも 天皇 皇后兩陛下には
大東亞戰爭下、國民鍊成を御獎勵
の思召から大會第五日の十一月二
日、明治神宮に御参拜の御後、外
苑競技場に行幸行啓遊ばされ、最
高潮に達した演練を親しく天覽な
らびに台覽あらせられた
また皇太子殿下にも大會第二日
の十月三十日、競技場に台臨、少
國民の激勵たる體操を御興深げに
台覽遊ばされた

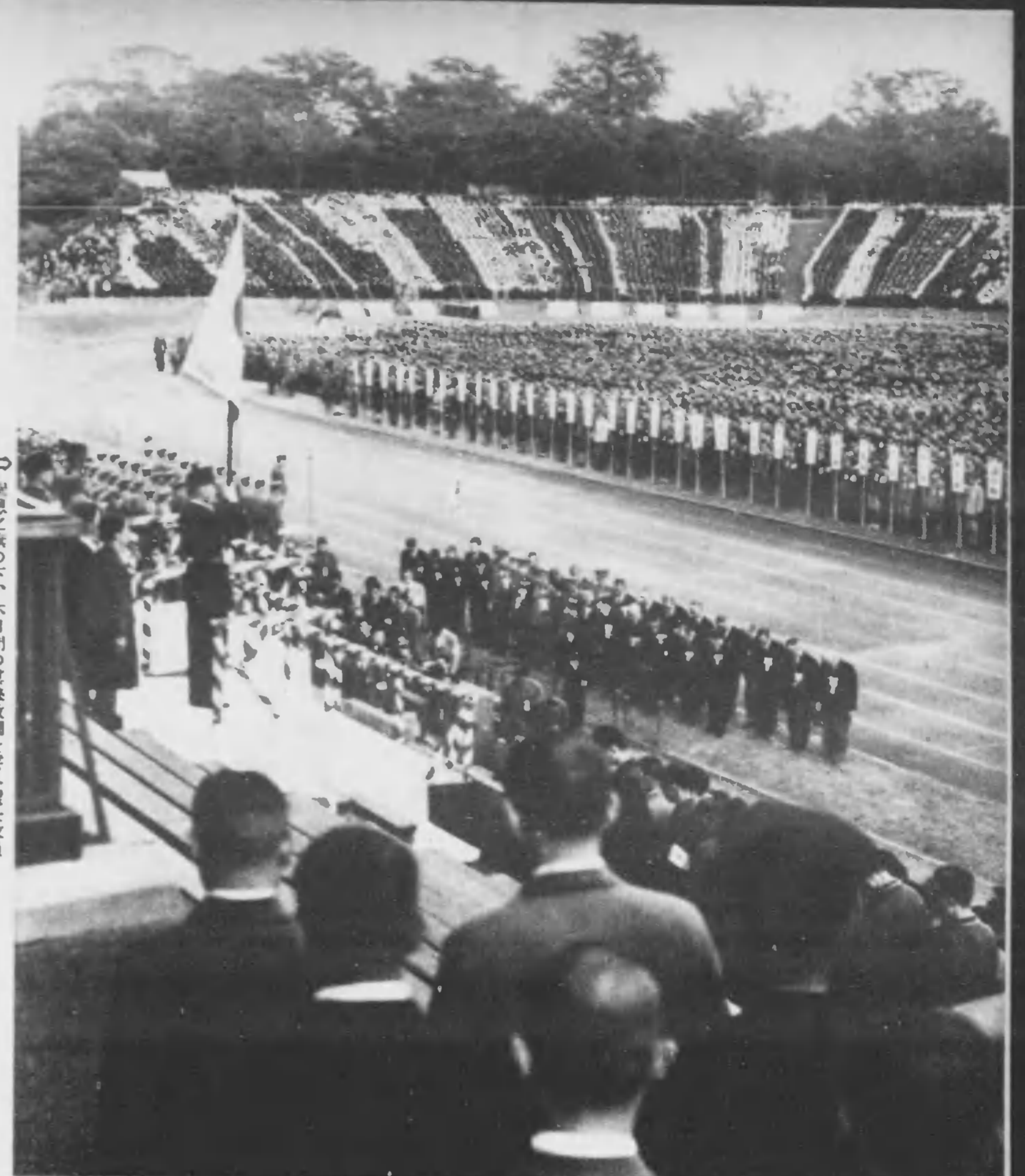
億一 健民の熱戦譜



エイ、オーの掛けいさましく、柔道は観衆の喝采をうけず



聖徳天皇の下、六日間の演藝取組を誓ふ選手役員
観衆席も一役買つて盛衰の勇士を中心に更生機投た



4レーの進軍もさかたばかり自轉車訓練の激戦はつづく
家へに敵へたこの身、各隊代表女子四百メートル運搬競争の力闘





早くも白雪に覆はれた山西戦線を愛馬と共に征く皇軍勇士

初雪を踏みしめ 山西戦線を征く

撮影 北支軍司令部
〇 寒気の泥濘を疾駆して、急進また急進



大東亞戦の完遂には、どうしても全力をあげて支那問題を處理しなければならぬ。また、支那問題の處理には、まづ重慶政権を打倒とする無理難題な抗日陣営を武力を以て徹底的に撃滅することが肝腎である。

大東亞戦の完遂には、どうしても全力をあげて支那問題を處理しなければならぬ。また、支那問題の處理には、まづ重慶政権を打倒とする無理難題な抗日陣営を武力を以て徹底的に撃滅することが肝腎である。

〇 皇軍の占領によって明朗化した雲南



大東亞戦争日誌

十一月一日

二十六日 ●帝國陸軍航空部隊は十月二十五日午後インド東部における敵の航空基地テンスキアおよびチッタゴンを襲撃。本攻撃において敵機四(うち不降實一)を撃墜し、地上にありし敵機三十九以上(うち大型機十八)を炎上もしくは破壊。わが方の損害一機。

二十七日 ●帝國艦隊は十月二十六日黎明より夜間にわたりサンタクルーア諸島北方洋上において敵有力艦隊と交戦、敵航空母艦四隻、戦艦一隻、艦型未詳一隻を撃沈、戦艦一隻、巡洋艦三隻、驅逐艦一隻を中破し、敵機二百機以上を撃墜その他により喪失せしむ。

わが方の損害 航空母艦一隻、巡洋艦一隻、駆逐艦一隻、戦艦一隻、輸送艦一隻、未歸還機四機。

(註) 本海戦を南太平洋戦と呼稱
●第二次ソロモン海戦以後、南太平洋海戦まで、即ち八月二十五日より十月二十五日に至る間におけるソロモン群島方面の帝國海軍部隊の戦果

(一) 艦船 駆逐艦五隻、潜水艦六隻、輸送艦六隻、掃海艇一隻、大破、戦艦一隻、航空母艦一隻、巡洋艦一隻、潜水艦一隻、輸送艦二隻、掃海艇一隻、中破、航空母艦一隻

(二) 飛行機 撃墜四百三機、地上撃破九十七機、その他敵機十七型大型機撃破十九機に對し大なる損害を與ふ
わが方の損害 (一) 艦船 沈没、巡洋艦二隻、驅逐艦二隻、潜水艦一隻、輸送艦二隻、大破、驅逐艦一隻、輸送艦二隻、中破、巡洋艦一隻、驅逐艦二隻、潜水艦一隻、輸送艦二隻 (二) 飛行機 自爆機十六機、大破三十一機、未歸還機七十八機

燃料節約をせよ

十一月十六日 二十一日燃料週刊

燃料は戦争遂行の原動力です。燃料の供給が不十分では工場の生産率は忽ち低下し、米英相手の生産戦に負けをとつてしまふてせう。一塊の石炭、一片の木炭が、競争に果す役割は非常に大きいのです。

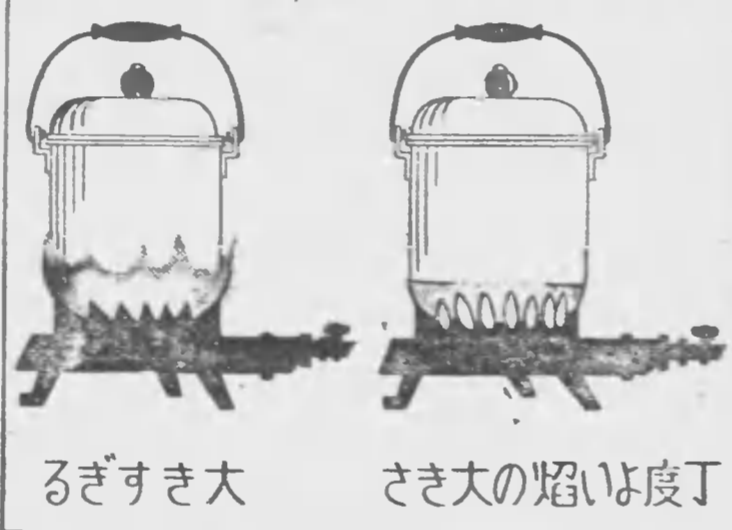
間近かな冬を控へて、家庭燃料の消費が急増する時期がきました。だが、この際私たちは家庭の消費をできるだけ節約し、また使用の合理化をはかつて、この大切な燃料をできるだけ多く、時局柄最も必要な軍需や、重要産業方面に廻さうてはありませんか。石炭、木炭、薪、いづれも生産地では採産に必死の活躍を續けています。輸送陣も一生懸命です。私たちも、この意気込みを切實に家庭生活の中に浸透させ不足を忍び、いや、さらに創意を凝らし、工夫を加へて、今年の冬を戦ひ抜きたいと思ひます。

正しい使い方



ガスは、決して火を消さず、燃焼が止まるとすぐに火を消す。燃焼が止まるとガスが漏れ出すので、必ず火を消す。

ガスは、決して火を消さず、燃焼が止まるとすぐに火を消す。燃焼が止まるとガスが漏れ出すので、必ず火を消す。ガスは、決して火を消さず、燃焼が止まるとすぐに火を消す。燃焼が止まるとガスが漏れ出すので、必ず火を消す。



大さき 小さき
この大さきは、燃焼が止まるとすぐに火を消す。燃焼が止まるとガスが漏れ出すので、必ず火を消す。



ガスは、決して火を消さず、燃焼が止まるとすぐに火を消す。燃焼が止まるとガスが漏れ出すので、必ず火を消す。

一 ガスを節約して使ふには、まづ何よりも計量器の読み方を知つてゐて、どの位使用したかを常に注意してゐるのが大切で、家庭によつては計量器の前後を正確にして、その所在も分らないやうなところもありませんが、これではいけません。まづ計量器の読み方を覚えて下さい。ガス会社からは毎月の消費制限量が通知されてゐますから、これを圖表にして豫定表を作り、五日毎または十日毎位に計量器の指針を見て、使用量が絶対に豫定を超えないやう十分心掛けませう。

二 ガスが燃えるには、七輪の捻子元にある空気孔から、適量の空気をいれることが肝要です。このため空気孔を適量に開けてガスを完全燃焼させて下さい。焰が青味を帯びたときが青白いときが最も高熱です。

三 使用の都度火をつけてお使ひ下さい。點け放して他の用をするときは無駄になりがちです。火をつけるときは鍋、茶壺等を七輪に載せてからマッチを擦り、火口にかざしてから、七輪の栓を開けて點火して下さい。

四 茶壺一、二杯の僅かな湯が要るだけなのに、多量の湯を沸かし、残りも無駄に冷してしまふのは本當に不経済です。また、薪物、雑物いづれも豫じめ所要時間を承知しておき、時間がきたらガスを加減します。寒所にはぜひ時計が欲しいものです。

五 炊飯器は、釜とガスの火口との距離を適當に保つことが必要です。焰の先が釜の底に當り、少し先が曲る程度まで火口の捻子を廻して上下します。鍋釜の底はピカ／＼に磨かないで、黒い燃料のあるまゝにしておく方が遙かに燃料が得です。

六 ガス器具の手入れはぜひ必要です。焰の出る孔が錆ついたり、埃で詰つたりすると、ガスが十分燃えないから、古ラシのやうなもので、汚れをとり、詰つた孔は筆などであけ、油布で軽く拭きます。そしてどの焰も同じ高さに揃ふやうに手入れて下さい。

七 ガスで炭火を起すとき、炭に火が點いたら、すぐにガスを消し、そのまゝしばらく置くと、自然に火が起ります。炭が全部真赤になつてもまだガスをつけ放しの方があります。

八 炊飯や湯沸しには、注意して使へば、次ぎの量で足りませう。

▼一升の御飯を炊くには、冬、秋所要時間九分半
ガス消費量 〇・〇七七立方メートル
ガス代金 六圓四毛(東京府料金)



メートルの読み方
文字は、四つ並んでゐる場合は、左から千位、百位、十位、一位となつてゐます。計量数字の中間を指してゐるときは、その下の数字に重なる数字を減らして、その下の数字に重なる数字を減らして、その下の数字を見てください。計量は、そのやうなところにあると、過剰な数字を減らす必要があります。同じく消費量を測るにはその時の指示量から前に測つた時の指示量を差引すればよいのです。

山では増産に必死です

岐阜県

燃料を節約させよう



一釜、一釜と月に六百俵の成績をあげる釜元班の活躍



信濃の山に薪炭を運ぶ出立の姿、一人一人が必死の努力をこめて



焼く大炭は秤にかけて俄につめる。なか／＼と炭たき

炭を焼くことは生きざしなことではない。とへ開墾などで手をつけたとしても、炭材の全国的不足は、労働や輸送力の不足と増産が農山村の重大な仕事となつたのに鑑み、同校は開墾地の木株を炭材としたらと、初め試験的に行つたのが、努力の甲斐あつた。今では月に五、六百俵の木炭供出をする。木炭供出に好成績をあげてゐる。木炭をやうになり、木炭増産への真摯な努力を一般農家では餘り手をつけなかつた。た

撮影 橋本満貞



木炭の増産だ！掘れ、掘れ、木株を...



炭料を節約させよう

海拔四千尺、標名の山頂に近い森林地帯の炭焼小屋に山と積まれた炭俵、この木炭を漕らしては、と山麓の室田高女の生徒二百名が、母校から往復七里の山道を木炭搬出の勤勞奉仕を行つてゐる。この日も四年生七十名が、吉田校長に引率されて山の炭焼小屋を訪れての搬出奉仕。白シャツの肩の上に風呂敷やチロキを當て、一依づつ背負つて溪谷沿ひの道を、丸木桶を渡り川岩を踏んで歩く。幾度もく踏くが、踏みしめ、汗とともに搬出に凱歌をあげた。

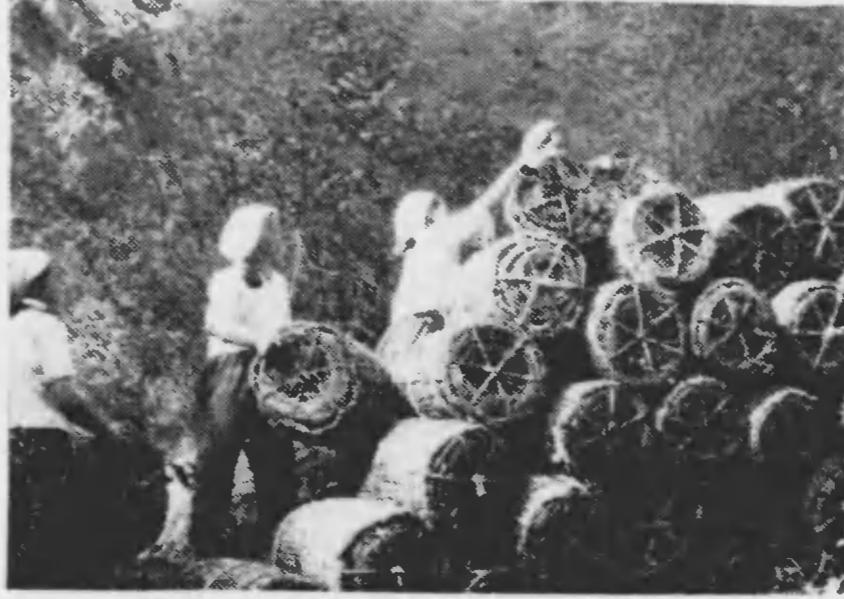
木炭が山を降る一俵々々女學生の肩にのつて



木炭を運ぶ乙女の運搬奉仕部。一俵をこなし、乙女の運搬奉仕部。一俵をこなし、乙女の運搬奉仕部。一俵をこなし、乙女の運搬奉仕部。



木炭を俵に詰めるのもおもしろい。



一人が一俵の分擔だ。たまに、木炭の山は崩れてゆく。

輸送陣も懸念だ

— 群馬縣 —



お前さん、もうおちよと上げて下さい。どうですこれにて。



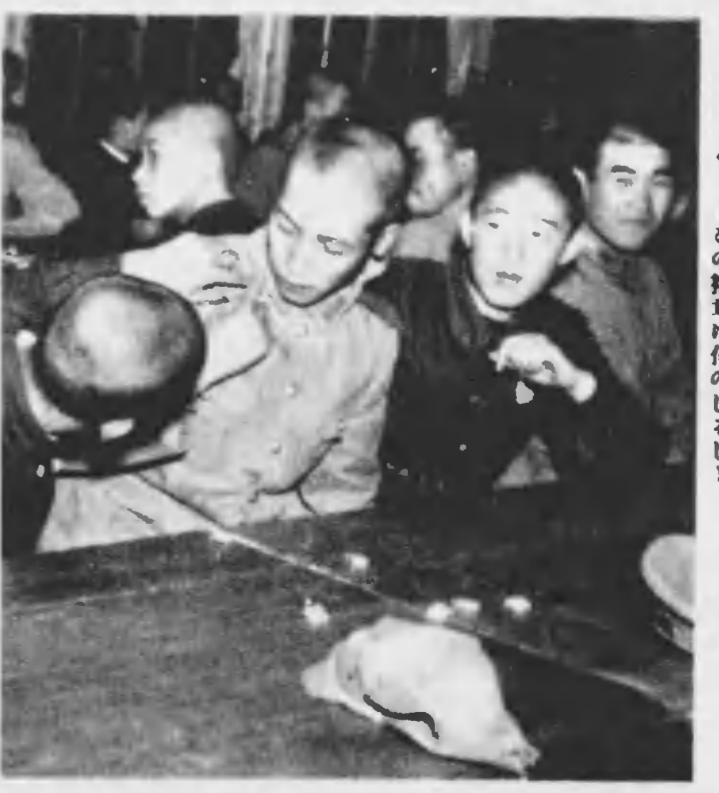
◁ 本物の兵隊さんと銃を並べて見る夢は、あゝもう戦車兵になつてゐる



◁ 見えるかい。ウソ見える 射撃訓練に少國民 たちはもう有頂天



◁ こいつが敵陣の真只中へバリ／＼と突込んでゆくんだ、けど凄いなア



◁ 薄々と富士山麓を駆り抜けて暴走する戦車の来歴 — 友やんも向ふの戦車に乗つてゐる 富士出身の戦車兵と膝を交へて語るたのしき この様子は河のしるし

二百八号の豆戦車隊

杯一氣元 人若の亞東大



會大育體歡交生學外内回一第

秋晴れの全日本に今さかに繰りひろげられてゐる健民輪巻。その異色の一劇——内外學生交歓體育大會が東京目黒區の國際學生會運動場で催されました。

マレー、佛印、タイ、フィリピン、インドネシア等の南方諸地域民族の學生達からアフガニスタン、盟邦ドイツ等の留日學生まで約百五十名に東大、外語、青山學院、澁谷女子商業等の學生生徒も加はつて、各種競技に敢闘ぶりを展開和やかなるうちに眞剣な共榮團若人の意氣を示しました。

↑ 一語々々力をこめて、留日學生代表タイ國アムーン・ブアンシレー君が敢闘宣言

↑ タイ語、マレー語、フィリピン等々と亂れ飛んで應援席の賑やかさ

↑ エンサ、エンサ綱引だ、僕らは東亞の兄弟だ力を合せて敢闘だ

↑ 綱引もお國自慢で、珍らしいタイ國の星十字綱引、一メートル先の旗が取れたら萬歳だ



⇒ ソレもう少しだぞ、煙草の點火競争だ。あせるタイ君や佛印君の口先で、湯巻煙香が邪徑にくるくると廻る

⇒ 風よ吹くな、一寸の間、ボクの提燈ともるまで





渡運中船車戦英の線河河北



走運に時時機が機米の要港香



襲強を揚行飛軍英ドイ軍大軍陸



るら新きいた鼻出の攻反軍米



減撃力主米で戦海洋平太南

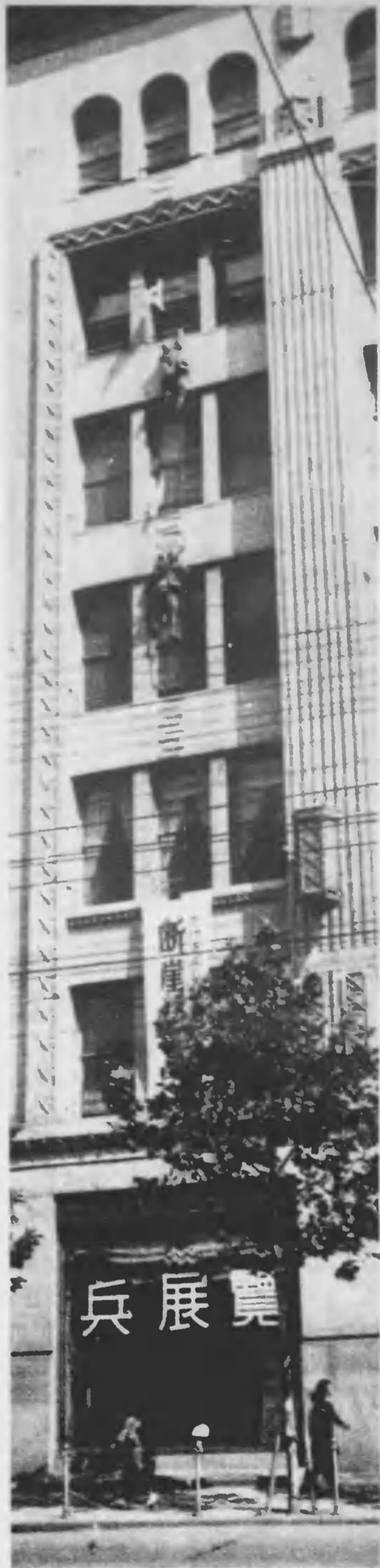


るなと日記記戦日念記軍海米

炭、薪、ガス、石炭
必死の増産を續けてゐます
輸送陣も配給陣も懸命です
この冬は
一塊の木炭、一本の薪もむざむざと
灰にしないやうに



■ 屋上の無補作業
大阪市 水野正宏
その武蔵長も上開に迷
したわが工兵の活躍あり
市民に知らせようとする
「早く工兵展覧会」は十月
十日から大阪市の百貨店で
開催されたが、無補作業は
屋上のプールを利用して日
常しい工兵の作業が公開さ
れた
右 高層建築を補梯子で登
る工兵(實は人形)
上 屋上のプールで木製の
架橋作業
■ 産する三万貫の大産
名古屋市 山田良治
各寺院の梵鐘も大東亞戦
の兵器としていま續々選俗
出征してゐるが、名古屋
王山日蓮寺の「鐘」の鐘
として知られた日本第二の
大梵鐘も、産召と決定し
た十月二十一日、名古屋十
数万の善男善女の「是非一
鐘」との願ひが入れられて
「鳴らし初め撞きをさめ」
の式が盛大に行はれた。



復習室

本報からあなたは何を學んで
せよか？
1 ナンタクルズ(諸島北方の海
域で行はれた海戦)は第一
次ソロモン海戦、南太平洋
海戦、珊瑚海海戦、アン
タクラーズ海戦、(6頁)
2 南方と同時に支那に於いても
戦争は續けられてゐますが、
北支那九月中の戦回数は
五百回以上、千回以上、
千五百回以上、千回以上、
3 冬を控へて私達はなぜ燃料の
消費を節約しなければなら
ないのか？ 南方から石炭
や木炭が来ないから、時局
情勢も必要なる軍需や産業
方面にまはさるため、(10頁)
4 共産黨若人の運動會で腰に
つけた珠らしい原十郎引
とよは後があらますが、こ
の競技はどうしたら勝つて
せう？ (20頁)
5 十月二十五日我が陸軍航空部
隊は○○○○の敵航空基地
を襲撃した。(9頁)
6 今年の木炭産出目標は五
十五萬貫、八十五萬貫、
7 南太平洋海戦で撃たれた我が
果のうちの撃沈艦は「吹上」
五隻と空母一隻、空母四隻
と戦艦一隻、ほか二隻、巡
洋艦八隻、空母一隻と駆逐
艦二十隻、(10頁)
8 ガスで一升のぶを吹くのに
注意してガスを使へば「空
中」どの位の時間で足りま
すか？ (11頁)
9 「道中で倒れた我が陸軍
部隊の隊員にジャコラ及びバ
タリーの機銃といふのがあ
りました。この機銃をたてた
のは「砲兵部隊」航空部
隊、戦車部隊、騎兵部隊、
(11頁)
10 ガス計量器の針が数字と数字
の間にあるときは、大きい方
の数字を讀みますか、それと
も小さい方の数字を讀みます
か？ (10頁)
一問十點としてあなたは何點
でしたか？



★ 表紙
凄々しい風、何かきつい決
意を凝らした時、今日一日の
幼い少年戦車兵も、けや想ひ
を戦場に馳せてゐるのかも知
れない。僕もなるぞ少年戦車
兵に、征くぞ米英軍の戦場
に、エンジンの轟きか、
快い興奮をゆすつてゐる
少年戦車兵(戦車一日入營
から)

寫眞週報(兼續報)

昭和十七年十一月十一日印刷發行

情報局
内閣印刷局
東京市町田女子

所 達 申	定 價
全国各地官報販賣所	一部十錢(送料一錢)
書店・驛賣店	(一) 外國郵送(依る地域)
新聞販賣店	(二) 送料(郵費)九錢
寫眞材料店	▲ 郵料(送料)一錢の方は一
	部十錢(送料一錢)の割
	合を以て前金を添へ御中
	込み下さい
	▲ 特大號の場合は其の郵便
	料を別途より差額を申受
	けます

本報を戦地にお送りしらる
場合は送料は内地と同様
郵料ありは別封して第二
種と明記すれば「一部」送
料一錢です

富良野新聞 昭和十七年十一月十日 第 五 四 二 二 號



本店名

東海銀行

内閣印刷局印刷發行

(内閣印刷局A4規格定規は336大の定規)